

北秋田市誕生10周年記念式典



北秋田市誕生10周年記念式典が、10月11日に文化会館で行われ、関係者約600人が出席し、10年の歩みを振り返りながら、節目の年を祝いました。

北秋田市と同級生 市内の児童3人が開会宣言

式典の開会にあたり、北秋田市の誕生と同じ、平成17年3月生まれの清水香潤さん（合川小4年）、佐藤瑠菜さん（前田小4年）、佐藤華恋さん（鷹巣東小4年）の3人が「北秋田市と私たちは同級生です。希望に輝く、命を彩る、未来へ羽ばたく、大好きな北秋田市。記念式典の始まりです」と開式の宣言をしました。



「明るく元気な北秋田市に」 津谷市長が式辞

式典では津谷市長が「この10年間、本市を取り巻く情勢は大きく変化し、少子高齢化の進展による人口の減少が進み、社会経済環境に大きな影響を及ぼしている。地方公共団体の果たす役割への期待と市民の皆さんとの協働に対する重要性が増すとともに、行政運営の再構築など、ますます地方の自立と自主性が求められる時代となった。市民の一体感の醸成をより一層図りながら、この10年間で培った経験を基にして、無限の可能性を秘めた北秋田市を全国に向けて発信するとともに、埋もれている地域の宝を発掘し、市民が憩い、にぎわいあふれる、明るく元気な北秋田市に発展していくことをここに誓う」などと式辞を述べました。

このあと、松尾秀一市議会議長があいさつを述べたほか、来賓の橋口昌道副知事、金田勝年衆議院議員、中泉松司参議院議員がそれぞれ祝辞を述べました。

市の発展に貢献した 8団体に特別表彰

市制施行時から様々な分野で市の発展に多大な尽力のあった8団体を功労者として特別表彰しました。

- ▽受賞団体は次のとおりです。
- ▽北秋田市芸術文化協会
- ▽伊勢堂岱遺跡ワーキンググループ
- ▽一般財団法人北秋田市体育協会
- ▽農事組合法人坊沢営農組合
- ▽北秋田市食生活改善推進協議会
- ▽北秋田市老人クラブ連合会
- ▽北秋田市連合婦人会
- ▽100キロチャレンジマラソン大会実行委員会事務局



▲受賞された団体の代表者が、市長から表彰状を受け取りました

150人の大合唱団による 市民歌の初披露

市民の皆さんが待ち望んでいた「北秋田市民歌」が、150人の大合唱団により、初披露されました。

この日は、作詞の岡部剛機さん（奈良県、作曲の道谷増夫さん（鳥取県）も見守る中、この10周年記念式典のために編成された、市内のコーラスグループ12団体150人と秋田北鷹高校吹奏楽部の演奏によって披露され、子どもから大人まで世代を超えて歌いとなる、優しさや温もりを感じる市民歌に会場からは、大きな拍手が送られました。

なお、この日に「北秋田市民歌」として公告が行われ、「北秋田市民歌」が正式に制定されました。

市民歌に携わった方たちに 感謝状を贈呈

市民歌作詞者の岡部剛機さん、作曲者の道谷増夫さん、市民歌の選定や補作を行った北秋田市民歌制定委員会を代表して亀谷健樹委員長に感謝状が贈られました。

岡部さんは「この美しい自然と人が一緒に輝いており、温かい人の輪とつながりが力になって町を動かしていると感じた」、道谷さんは「歌というのは生身の人間が一生懸命歌うことで、初めて命が宿る。今日の



▲作詞者の岡部さん(左)と作曲者の道谷さん(右)

演奏で、この歌が日本で一番美しい市民歌になったと思う」、亀谷さんは「市民の皆さんにも、事あるごとに歌い継いでほしいと思う」などと感想を述べました。

会場全員で市民歌を斉唱

最後に、秋田音楽研究会の三澤由美子代表による合唱指導のもと、出席者全員で市民歌が歌い上げられたほか、長崎克彦市議会副議長の発声で万歳三唱を行い、盛大な盛り上げりのうちに幕を閉じました。



▲参加者全員で市民歌を斉唱

北秋田市民歌

作詞 岡部剛機
補作 北秋田市民歌制定委員会
作曲 道谷増夫

空を仰げば 森吉の
峰は気高く そびえ立つ
若い力と 人の和で
幸せ築き 進み行く
ああ 誇らしい 北秋田
希望に輝く ふるさとよ

水はきらめく 米代と
阿仁の流れが つむぐ夢
めぐる季節も 鮮やかに
豊かな恵み 幸を呼ぶ
ああ 麗しい 北秋田
命を彩る ふるさとよ

浪漫漂う 縄文の
遙かな歴史 受け継いで
理想抱いて はずむ声
文化の花も 咲き香る
ああ 愛おしい 北秋田
未来へ羽ばたく ふるさとよ

※市民歌は市のホームページで聴くことができます。携帯電話の場合は、18ページをご覧ください。